

※文字の大きさは Meiryu UI /12 ポイント以上とし、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※各項目の枠の幅は変更可能ですが、必ず A3 用紙片面におさまるように作成してください。
 ※画像、写真、イラスト等は、用紙の中におさまるようにし、ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式 2】

<p>研修成果の活用レポート/NITS 大賞エントリーシート</p> <p>※研修成果の活用レポートは、NITS 大賞エントリーシートと同様式です。NITS 大賞に応募される方は、推薦者への提出とは別に、<award@ml.nits.go.jp>宛て、メールにてお送りください。なお、メール送信後、3 日以上受領メールが届かない場合はご連絡ください。</p>	<p>※事務局記入欄</p> <p>受理No. : A-4</p>
<p>【学校名・氏名】 福島県南相馬市立小高小学校・高野伸一郎</p>	<p>【応募部門】</p>
<p>【修了研修名】 平成 30 年 第 3 回 副校長・教頭中央研修</p>	<p>カリキュラム・マネジメント</p>
<p>【活動名】 地区内伝達講習</p>	
<p>解決すべき課題：※活動を行う前に、どんな課題設定をしましたか？</p> <p>○ チーム学校として今日的な教育課題を解決していくためには、教頭として必要なスキルや知識を身に付けることは、学校の教育効果を高めるための喫緊の課題である。今、学校では、地域と連携した開かれた教育課程の実現や、心身の疲労からおこる病気休職者の増大、大量退職に伴う教員文化の継承など、学校組織として取り組むべき課題は山積している。そこで、以下の 3 点を解決すべき課題として設定した。</p> <p>① 学校組織を活性化させるための教頭の在り方 ② 教職員一人ひとりのやる気を引き出す教頭の関わり方 ③ 学校や自分を守るために、法令遵守の大切さについて教職員一人ひとりの理解を深める</p> <p>また、教頭職は、日常業務に追われることが多いため、組織として何が必要なのか、課題解決に向けてじっくりと日頃の学校経営を振り返ることが難しい場合が多い。そこで、今回の研修で学んだことを、できるだけ多くの教頭に伝える事も大切であると考えた。</p>	
<p>目標・方針：※課題を解決するためにどんな目標や計画、戦略や方針をたてましたか？</p> <p>【計画】</p> <p>○ 課題①と②については、域内教頭会等の研修で伝達し、地域の学校の活性化を図る。</p> <p>○ 課題③については、校内研修会で教職員のサービス倫理に関する意識の向上を図る。</p>	
<p>活動内容：※何を行ったか、具体的に記載してください。</p> <p>【平成 30 年度 域内（福島県相馬地方）教頭会での研修】※課題①②</p> <p>日 時：平成 31 年 1 月 17 日（木） 13：30～</p> <p>場 所：相馬市民会館</p> <p>参加者：相馬地方小中学校教頭（39 名）</p> <p>内 容：講習会資料を使った伝達研修会 ・ 学校組織を活性化させるための教育目標設定の演習とグループ協議を行った。 各校の課題と今年度の教育目標について見直し、校内外の資源や環境を考慮しながら、全職員が同</p>	

<p>活動内容：※何を行ったか、具体的に記載してください。</p> <p>一歩調で取り組める共通課題を作成。その後、グループごとに互いの良い点と課題について話し合い、今後の学校経営に生かせるようにした。</p> <p>・ 効果的なカリキュラムマネジメントを実現するための、校内体制づくりの事例紹介を行った。カリキュラムマネジメントの必要性と有効性を確認した。その後、カリキュラムルームを軸に全職員でマネジメントに取り組んでいる事例を紹介し、無理なくすぐにできるカリキュラムマネジメントについての知見を広めた。</p> <p>【校内サービス倫理委員会での事例研究】※課題③</p> <p>日 時：令和 元年 5 月 10 日（金） 15：30～</p> <p>場 所：福島県南相馬市立小高小学校職員室</p> <p>参加者：福島県南相馬市立小高小学校・福浦小学校・金房小学校・鳩原小学校教職員（33 名）</p> <p>内 容：サービス倫理委員会の中で、講習会資料と講師の先生の著書を使った事例研究を行った。 ・ 従前の事例研究にはなかった裁判訴訟の判例を中心に、リスクマネジメントの観点から学校事故防止と法令遵守の意識を高めるための研究協議会を実施した。</p> <p>【令和元年度 域内（福島県相双地方）学校経営研究協議会での研修】※課題①②</p> <p>日 時：令和元年 8 月 19 日（月） 13：00～</p> <p>場 所：南相馬市万葉ふれあいセンター</p> <p>参加者：相双地方小中学校教頭（63 名）</p> <p>内 容：講習会資料を使った研修会を行った。（テーマ「学校組織マネジメントにおける教頭の役割」） ・『教育政策の諸動向』『学校組織マネジメント』『教職員の非違行為へのリスク』『教職員のメンタルヘルス』の講義を中心に、「教頭の役割」という観点から講義内容をプレゼンテーションで再構築し、講話形式で研修を行った。</p>
<p>活動の成果：※それによって、どんな成果が得られましたか？</p> <p>○ 校内研修会や域内の講習会においては、教育をとりまく最近の動向や各校の課題解決策等について、取組の参考になる資料や講義内容の伝達を行うことができた。</p> <p>○ 今回の活動を通して、受講した内容を自分の言葉で再構築する作業を通して、課題を解決するために必要な方策を提案したり、受講内容の理解を自分なりに深めたりすることができた。</p>
<p>アピールポイント（アイデアや工夫）：</p> <p>○ 課題解決に必要な資料を精選し再構築してまとめた。</p> <p>○ 対象者に応じて講習内容を変えたことで、それぞれの立場から見える教育課題について考えるきっかけを提供することができた。</p>